

熊本市長  
幸山 政史 様

# 要 望 書

熊本地区 I C カードの導入について

平成 25 年 6 月 5 日

熊 本 商 工 会 議 所

熊本市は、九州新幹線全線開業と政令指定都市移行という永年の悲願が2年連続で実現し、九州の拠点都市として更なる発展を実現していくことが期待されております。このような中、都市機能の充実に資するICカード導入について、行政や民間において検討が進んでいることは大変意義のあるところです。

さて、熊本市におかれましては磁気式共通プリペイドカード「TO熊カード」の後継として、市電への全国相互利用型のICカード乗車券の導入予算を計上され、2年以内の運用開始を目指していると伺っております。一方、県内交通事業者5社では、県・市民のみならず県外からのビジネス客や観光客の利便性を確保する広域ICカード片利用と呼ばれる機能を付加した「地域振興ICカード」導入を合意し、2015年3月の運用開始を目指して開発に着手されていると伺っております。

当商工会議所は、県内経済活動や県・市民生活の観点から約1年に亘りICカードに関する検討を行ってきたところですが、その要件として、

- ① 広域性を確保しつつも県内のJR 或いは市電、バスを日常的に利用する通勤・通学者などの利便性を最重視したものであること
- ② 地域振興のため熊本独自のサービスが開発・提供できる域内循環型システムであること

との結論に至りました。

つきましては、熊本市電に導入の広域ICカードについては、広く県・市民の利便性を実現しつつ、県内交通事業者5社が進める「地域振興ICカード」とも連携が可能で、今後、熊本県・市の発展に連携を強化していくことが求められるJR九州の「SUGOCA」を採用いただきますようお願い申し上げます。

平成25年6月5日

熊本商工会議所  
会頭 田川 憲生

熊本市長

幸山 政史 様

# 要 望 書

熊本地区 I C カードの導入について

平成 2 5 年 7 月 1 9 日

熊 本 商 工 会 議 所

熊本地区に導入予定のＩＣカードについて、熊本商工会議所は、先に熊本市に対して要望書を提出させていただきましたが、熊本市議会ならびに熊本市公共交通協議会において様々なご意見が出され、方針の決定に向け議論が深まっていることは大変有り難く感じているところです。

ＩＣカードが、公共交通利用カードとして熊本の多くの生活者にとって利便性の高いものであるべきだというのは勿論のことですが、今後、さらに熊本の発展を目指していくためには、熊本独自の都市圏交通施策の展開や中心市街地の活性化に資するＩＣカードを導入いただくことが是非必要であると考えますので、改めて要望をさせていただきます。

さらに、導入後におきましても、将来の柔軟性や発展性を十分に確保したものとしていただきますよう、今後の施策についても協議の機会を設けていただくよう要望致します。

平成２５年７月１９日

熊本商工会議所

会 頭 田川 憲生